

<対策のポイント>

A M I S（農業市場情報システム）が果たしてきた役割と成果を評価するとともに、今後の検討課題として世界の食料生産、需給等に関する懸念材料への対応を検討。

COVID-19の蔓延により、食料サプライチェーンが深刻な影響を受けたことを踏まえ、緊急時における情報収集を強化。

<政策目標>

A M I Sの目的である世界の食料安全保障上の危機対応について、成果と課題が明らかとなり、A M I Sの機能が改善・強化され、我が国の食料安全保障の向上にも寄与

<事業の内容>

1. A M I S活動貢献評価調査

- これまでのA M I Sの活動や成果を食料安全保障の観点から評価。

2. 食料安全保障懸念要因調査

- 食料価格の乱高下の要因となり得る事例の収集及び分析。

3. 食料安全保障に係る危機管理検討

- 抽出された懸念要因に対して、食料価格の乱高下、特に輸出国・輸入国への影響度合いの分析及び状況把握のための調査項目・調査方法の検討。

4. 非G20メンバー国を含む各国のCOVID-19等影響調査

- COVID-19の蔓延等、危機的状況における必要な情報収集と迅速な共有を実施。

<事業イメージ>

穀物等の価格の変動要因

異常
気象

バイオ
燃料
増加

畜産物
需要増
等

新たな要因

海上・陸上
輸送に
おけるリスク

COVID-19
の世界的
蔓延による
影響

その他
の要因

影響緩和・回避

A M I Sによる対応

- ① 市場情報の質・分析・見通し改善
- ② 危機の際の対話・対応・政策協調
- ③ 途上国の能力開発

A M I Sによる新たな対応

- ① COVID-19等新たな要因の調査
- ② サプライチェーンの影響把握
- ③ 非G20メンバー国と連携

<事業の流れ>

